

# 重点施策（マニフェスト）の取組状況

平成25年3月末現在

名 張 市

## 目 次

総 括 表	...	1 頁
1.安心・安全のまちづくり	...	2 頁
2.元気・活力あるまちづくり	...	5 頁
3.未来につなぐまちづくり	...	8 頁
4.環境共生の魅力あるまちづくり	...	10 頁
5.躍進のシステムづくり	...	12 頁

重点施策(マニフェスト)の取組状況

総括表

重点施策の取組状況について

項 目	取組状況			マニフェスト 項目数	事務事業数	平成24年度 決算額(千円)
全 体	15(13)	17(19)	0(0)	32	76	7,509,652
1.安心・安全のまちづくり	4(4)	5(5)	0(0)	9	14	3,374,381
2.元気・活力あるまちづくり	5(4)	2(3)	0(0)	7	12	180,478
3.未来につなぐまちづくり	2(1)	5(6)	0(0)	7	25	1,960,011
4.環境共生の魅力あるまちづくり	1(1)	4(4)	0(0)	5	10	1,588,989
5.躍進のシステムづくり	3(3)	1(1)	0(0)	4	15	405,793

( )内は平成23年度の項目数

- ... 達成できた。
- ... 取り組み中である。
- ... 検討・準備または未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

1.安心・安全のまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
安心できる医療体制の整備	地域医療体制の整備 伊賀地域の公立2病院の機能再編と連携の強化により、安心できる二次救急医療体制を早急に構築します。	地域医療	・ 輪番制の堅持と連携強化のための機能分担の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 寄附講座等による名張市立病院の医師数の増加に加え、二次救急を担う3病院の機能分担と連携強化により、輪番体制を維持することができました。</li> <li>・ 3病院長による輪番体制に関する意見交換会を定期的開催することができました。</li> <li>・ 時間外の小児救急は市立病院が輪番日に合わせて受入れているが、10月から受入日を増やして実施することができました。</li> <li>・ 地域医療再生基金事業により、市立病院の医療機器整備や寄附講座による医師確保事業等を実施しました。特に、平成24年度に三重大学に寄附講座が設置されたことにより、総合診療科などの医師が派遣され、6月に市立病院が「地域医療支援病院」として県の承認を受けました。更に10月には「地域医療教育研修センター」が設置され、地域の医療機関の医師や研修医に活用されています。</li> </ul>		健康福祉部
	在宅医療体制の充実 病診連携の強化と保健・医療・介護・福祉のネットワークを形成し、平成23年度から在宅医療推進事業をスタートさせるなど在宅医療の充実と包括的なケア体制を整備します。	地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師会主導型で在宅医療の拠点となる「在宅医療支援センター」を運営し、市民が安心して在宅で療養しながら暮らすことができる体制を構築</li> <li>・ 在宅医療を支える関係機関の連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成24年度については、名賀医師会が厚生労働省の「在宅医療連携拠点事業」委託費の直接交付を受け、在宅医療支援センターの運営を実施しました。</li> <li>・ 関係機関との連携強化を図るため、実務者会議の開催(5回)、ケアサマリー検討部会及び医材料供給システム部会の開催、福祉関係者との多職種合同研修会を開催しました。</li> <li>・ 市民への啓発については、医療機関ガイドブックの作成及び講演会を開催しました。</li> </ul>		健康福祉部
	市立病院小児医療センターの開設 市立病院における療育、小児救急の機能強化を進め、2年以内に市立病院に「小児医療センター」を開設します(療育センターを併設)	地域医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年の年内を目途に市立病院に「小児医療センター」の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成25年3月末時点での小児科医は4名で、小児専門外来を毎週木曜日(午前中)に実施するとともに、救急当番日以外の火曜日と日曜日に小児救急の実施日を拡充しました。</li> </ul>		市立病院

取組状況: ...達成できた。 ...取り組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

1.安心・安全のまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における 関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
高齢者・障害者福祉の推進	<p>老人福祉施設の整備 小規模多機能施設、認知症グループホーム、特別養護老人ホーム、介護付有料老人ホームの整備を進め、3年以内に入所・居住系のベッドを400床以上増床します。</p>	高齢者福祉	<p>・平成24年度を目途に老人福祉施設の入所・居住系のベッドを400床以上増床</p>	<p>・施設の増床を促進しました。 認知症対応型共同生活介護施設 2施設 18床 特別養護老人ホーム 1施設 30床 特定施設入居者生活介護施設 (サービス付き高齢者向け住宅) 1施設 60床 (平成22～24年度増床数 合計 346床)</p>		健康福祉部
	<p>障害者福祉の充実 障害者人材センターへ1年以内にジョブトレーナーを配置し、機能を充実するとともに、農業分野への障害者の就労を促進するなど、障害者の就労を積極的に支援します。 精神障害者の皆さんが地域の中で安心して暮らせるよう精神障害者グループホームを2年以内に整備します。</p>	障害者福祉 雇用	<p>・平成22年度を目途に就労支援員を1名配置 ・農業分野への障害者の就労を促進するなど、障害者の就労の積極的な支援 ・平成23年度を目途に精神障害者グループホームの整備</p>	<p>・障害者人材センターに就労支援員2名を配置し、障害者の就労支援を行いました。 ・名張市障害者アグリ雇用推進協議会の事業として農業分野での障害者就労体験実習、モデル雇用、定着支援等の事業を実施しました。 ・平成23年度に市内朝日町に精神障害者グループホーム「フェアハウス名張」を整備し、定員10名中5名の男性が入居されています。</p>		健康福祉部 産業部
地域福祉の推進	<p>要援護者支援体制の整備 身近な地域で相互に支え合う日常生活支援ネットワークづくりなど、地域住民と連携して災害時の相互支援体制を2年以内に整備します。</p>	健康福祉ネットワーク	<p>・平成23年度を目途に災害時の相互支援体制の整備</p>	<p>・災害時における要援護者の支援体制が整った15の地域づくり組織に対し、災害時要援護者の追加同意者リスト(平成24年度に新たに同意された方844人分)を提供した。同意者は平成22年度から累計で6,352人になりました。</p>		健康福祉部
	<p>地域支援体制の整備 地域づくり組織と連携してさまざまな生活課題を解決するため地域で取り組む有償ボランティア活動など共助の仕組みづくりを進め、安心な暮らしと心豊かな地域を創造します。</p>	健康福祉ネットワーク	<p>・平成23年度を目途に2地区以上の地域づくり組織において、有償ボランティアによる高齢者等の日常生活支援体制の整備</p>	<p>・日常生活の中の困りごとを身近な地域の中で解決していく仕組みとして、地域づくり組織が主体となって取り組む有償ボランティアを新たに1地域(比奈知地域)で立ち上げるとともに、つつじが丘・春日丘地域で地域福祉バスの取り組みが始まり、実施済地域が5地域(うち地域福祉バスは3地域)となりました。</p>		健康福祉部

取組状況: ...達成できた。 ...取り組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

1.安心・安全のまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における 関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
安心できる暮らしの創造	<p>消防・救急体制の強化 消防・救急・救助体制の充実と消防組織の効率化を図るため、3年以内に広域化に取り組むとともに、医療体制との連携強化を図ります。</p>	消防・救急	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年4月1日を目途に伊賀ブロック消防の広域化</li> <li>救急医療機関との連携強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域化の実現に向け協議をした結果、平成25年4月1日までに解決できない問題があり、広域化に至りませんでした。今後も広域化に向け協議を継続します。</li> <li>救急搬送業務の充実に向けて、地域医療担当部署と連携を図るとともに関係医療機関と協議調整を実施しました。</li> <li>伊賀地域メディカルコントロール協議会と連携し、事後検証会の実施及び救命処置プロトコルの見直しを図り救急業務体制の強化を図りました。</li> <li>ドクターヘリの運用について、関係医療機関と事例検証を実施するほか、離着陸場の見直しを行い救命体制の強化を図りました。</li> </ul>		消防本部
	<p>危機管理体制の充実 住民の連帯意識に基づく地域が主体となった自主防災組織や消防団の拡充を図るため、3年以内に自主防災リーダーを延べ3,500人養成します。あわせて、地域防災訓練などの活動を支援するとともに、関係機関や地域組織などと連携した防火・防犯・防災の危機管理体制を確立します。</p>	防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度を目途に自主防災リーダーを延べ3,500人養成</li> <li>各地域が主体として実施する防災訓練への支援</li> <li>名張市内全体の防火・防犯・防災力の向上を図るため、名張市生活安全推進協議会と名張地区防犯協会等の関係機関や地域組織などと連携した危機管理体制の確立</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災リーダーの養成を目的とした防災講習会等を実施しました。 自主防災リーダー養成数 1,763人【延5,705人】</li> <li>(内訳) 自主防災組織等の防災講習会及び出前トーク等受講者数 1,335人【延3,716人】</li> <li>自主防災組織等の 防災体験学習コーナー利用者数 428人【延2,009人】</li> <li>地区主体の防災訓練開催地区数 31地区</li> <li>名張市生活安全推進協議会委員を各地域づくり組織から推薦いただくことで、両組織の活動に繋がりを果たせるとともに、同協議会防災部会主催の研修に地域づくり組織からの参加を求め、目的意識の共有化を図りました。</li> <li>暴力追放名張市民会議を立上げ、名張市からあらゆる暴力を追放する気運を高めました。</li> </ul>		企画財政部 危機管理担当

取組状況:      ...達成できた。      ...取り組み中である。      ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

2.元気・活力あるまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
雇用の創出	福祉施策の推進で雇用の創出 小規模多機能施設や特別養護老人ホームなどの充実を図ることにより、2年以内に300人以上の雇用を創出します。	雇用	・小規模多機能施設や特別養護老人ホームなどの充実を図ることにより、平成23年度を目途に300人以上の雇用の創出	・施設の充実により、雇用の創出に取り組みました。 認知症対応型共同生活介護施設 2施設 20人 特定施設入居者生活介護施設 (サービス付き高齢者向け住宅) 1施設 37人 合計 57人  (平成22～24年度 雇用創出人数 合計 327人)		健康福祉部
	企業誘致による雇用創出 企業誘致や新たな産業の創出により、3年以内に500人以上の雇用を創出します。(ノーベル製菓(株)、藤森工業(株)、ヤマト運輸(株)コールセンターの拡張、ナフコ(株))	雇用	・企業誘致や新たな産業の創出により、平成24年度を目途に500人以上の雇用の創出	・市公益施設用地の利活用による「癒しの里 名張の湯」の進出等により、150名程度の雇用の創出につながりました。 ・新たな産業の創出の取組として、平成24年12月に新神戸電機(株)名張事業所(八幡工業団地)の新生産・技術棟が完成しました。		産業部
住民主体のまちづくり	地域づくりへの支援 地域特性を生かしたまちづくりを推進するための地域ビジョンの策定を支援するとともに、引き続きビジョン具現化のためのシステムを3年以内に構築します。	地域づくり	・平成24年度を目途に、地域ビジョン実現を支援するためのシステムの構築。(予算反映は平成25年度から)	・市の総合計画に地域ビジョンを最大限に尊重した地域別計画が反映され、その実現を支援するための「ゆめづくり協働事業」を創設しました。		地域部
	コミュニティビジネスの推進 地域づくり組織を中心とした自発的・自主的な活動を支援するため積極的な都市内分権に取り組むとともに、身近な生活課題を解決するコミュニティビジネスを促進します。	コミュニティの元気づくり	・地域づくり組織を中心として、コミュニティビジネスを用いた取組の活性化	地域づくり組織がコミュニティビジネスを用いた取組みを活性化していくため、研修会の開催や地域資源を活用するための情報提供を行いました。		地域部

取組状況: ...達成できた。 ...取組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

2.元気・活力あるまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
名張ブランドづくりの推進	地産地消・自産自消の推進 安全で新鮮、良質な地元農産物を取り入れた学校給食、広く提供するファーマーズマーケットの設置を進めるなど、地産地消のシステムを構築します。また、多様な担い手を育成し、自産自消を推進します。	農村環境整備	・安全で新鮮、良質な地元農産物を取り入れた学校給食への導入 ・広く提供するファーマーズマーケットの設置を進めるなど、地産地消のシステムの構築 ・多様な担い手を育成し、自産自消の推進	・「ぱりっ子給食の日」として市内小学校の給食における地元食材の活用推進に引き続き取り組み、ファーマーズマーケット「ほのぼの市場」の学校給食供給量が前年に比べ14%増加しました。 ・ファーマーズマーケット「ほのぼの市場」に加えて、平成24年8月にオープンした「とれたて名張交流館」で、地元農産物や加工品などの地元食材の広い提供に取り組みました。 出荷者数 195名 取扱点数累計 約22万点 ・「とれたて!なばり2012」において、地元農産物のPRと販売を行い、生産者と消費者の交流を図りました。 ・新規就農相談や野菜・花きの栽培、農産物加工の研修会を開催し、多彩な担い手の育成に取り組みました。		産業部
	名張ブランドの確立と発信 伊賀米、伊賀肉、ぶどうなど優良農産物を活用し、積極的な商品化を促進するなど、名張ブランドとなる地場産品の確立に取り組みます。また、観光、物産とのネットワーク化を図り、広域連携による情報発信に取り組みます。	観光	・伊賀米、伊賀肉、ぶどうなど優良農産物を活用し、積極的な商品化を促進するなど、名張ブランドとなる地場産品の確立 ・観光、物産とのネットワーク化を図り、広域連携による情報発信の推進	・伊賀米コシヒカリが食味ランキング最高評価の特Aを取得するなど、地場産品のブランド化に向けて取り組みました。また、ご当地グルメ「名張牛汁」の普及促進に取り組みました。 ・「とれたて名張交流館」において、新商品開発の促進を行うとともに、物産等のPRイベントや他の自治体との交流イベント等を行いました。 ・東大和西三重観光連盟では、広域の温泉めぐりスタンプラリーなどを開催し、誘客に努めました。 ・「三重県観光キャンペーン推進協議会」との連携により観光誘客に取り組みました。 ・「伊賀流忍者観光推進協議会」を組織し、各団体が連携しながら伊賀流忍者の国内外へのPR事業に取り組みました。		産業部

取組状況: ...達成できた。 ...取り組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。



重点施策(マニフェスト)の取組状況

2.元気・活力あるまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における 関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
産業と教育の連携	皇學館大学撤退に伴う跡地に高等教育機関の誘致を進め、地域企業との共同研究に取り組むなど産業と教育の連携を図ります。	都市産業 高等教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>皇學館大学撤退に伴う跡地に高等教育機関を、平成23年4月の開校に向け誘致</li> <li>地域企業との共同研究に取り組むなど産業と教育の連携の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>名張市民産学官連携推進協議会において、民産学官連携の取組を推進しました。</li> <li>近畿大学工業高等専門学校と地元企業との共同研究を支援しました。</li> </ul> 共同研究実施数 3企業4テーマ		企画財政部 産業部

取組状況:      ...達成できた。      ...取り組み中である。      ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

3.未来につなぐまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
少人数教育の推進	基礎的・基本的な学習能力を高めるため、2年以内に教育サポーターを30人以上の全学級に配置し、少人数教育を推進するなど学びの環境の充実を図ります。	学校教育	・平成26年度を目途に小学校の30人以上の全学級に教育サポーターを配置し、国語や算数において少人数教育の実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に各小学校における少人数指導の実施状況の把握をするとともに、各大学への学生教育サポーター募集に関する協力依頼と広報(10大学)を行いました。</li> <li>・2月、3月には、学生教育サポーターを配置した小学校における成果の検証、次年度の学生教育サポーター募集に向けての各大学への協力依頼を実施しました。</li> <li>・結果として、学生教育サポーターの配置は、7校でのべ11人の配置となった。30人以上の学級がある学校の7割に配置することができました。</li> </ul>		教育委員会
教育環境の充実	特別支援教育 障害児が安心して学べる環境を創造するため、療育センターを2年以内に整備します。	学校教育	・療育センターを平成24年度に整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・途切れのない子どもの発達支援に係る相談、医療、療育を総合的かつ継続的に提供するための中核施設となる「名張市子ども発達支援センター」を「名張市教育センター」と併設した「名張市子どもセンター」に整備し、平成25年4月に開設します。療育に関しては、出来る限り既存の制度、仕組み、地域の資源を活用することとした整備計画に基づき、社会福祉法人名張育成会が行っている「児童発達支援センターどれみ」を子どもセンター内に設置して実施します。</li> </ul>		子ども部
	小中学校の耐震化の推進 小中学校各施設の耐震診断結果に基づき、必要とされる全施設の耐震化に向け、4年以内の着実な取組を計画的に進めます。	学校教育	・小中学校各施設の耐震診断結果に基づき、必要とされる施設を平成27年度を目途に耐震化整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震発生時における児童生徒の安全確保と、被災直後の応急避難所としての機能を考慮して、錦生小学校、比奈知小学校の屋内運動場耐震改修工事を実施しました。</li> </ul>		教育委員会
	総合教育センターの推進 社会全体で教育の向上を図るため、2年以内に総合教育センター構想の具体化に取り組みます。	学校教育	・平成24年度を目途に教育センターを設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年4月に教育センターの開設に向け、施設及び組織機構の整備を行いました。</li> </ul>		教育委員会

取組状況: ...達成できた。 ...取組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

3.未来につなぐまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における 関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
子育て・子ども支援 の充実	待機児童ゼロの実現 年間を通じて保育所の待機児童ゼロを平成22年度に実現します。	子育て・子ども支援	年間を通じて保育所の待機児童ゼロを平成24年度に実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所の新設には多大な費用・時間がかかるため、早急な待機児童対策となる家庭的保育事業について、調査・検討をした結果、平成25年度早期の実施に向け調整をしました。</li> <li>・待機児童の解消のため、「民間保育所乳児途中入所受入円滑化事業」を継続し、年度途中の入所希望者への対応ができる保育士を年度当初から確保しました。これにより平成24年度は77人の途中入所希望の児童を入所させることができました。</li> <li>・蔵持保育園の施設を改修したことで、0歳児保育が可能になり、待機児童の解消を図りました。この施設改修により、全ての民間保育所で0歳児保育に対応することになりました。</li> </ul>		子ども部
	幼保一元化の推進 幼児教育と保育の充実などより良好な子育て環境を整えるため認定こども園の整備により、2年以内に幼保一元化を推進します。	子育て・子ども支援	平成26年度に策定する「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、幼保一元化となる認定こども園の整備のあり方を検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査のための試行調査を実施しました。また、公立・私立の幼稚園の連携を強化するため、市内全幼稚園(公立・私立)による名張市幼稚園連絡協議会を発足させ、幼保一元化の推進を検討する体制を整備しました。</li> </ul>		子ども部
	幼児教育・保育の充実 さまざまなニーズに適切に対応できる保育環境を整備、特色ある保育を効率的に進めます。 安心して産み、育てることのできる保育環境の充実に向け、病児・病後児保育を3年以内に実施するとともに、ファミリーサポートセンター事業の充実、夜間等の緊急サポート事業の充実に取り組みます。	子育て・子ども支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の身近な子育て支援の拠点として、マイ保育ステーションを平成24年度に開設</li> <li>・民間のノウハウ等により多様な保育ニーズに応えるとともに、特色のある保育を提供</li> <li>・平成25年度を目途に病児病後児保育施設の整備を検討</li> <li>・ファミリーサポートセンター事業の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年4月から赤目保育所(公立)で、また同5月から昭和保育園(民間)でマイ保育ステーションを設置し、育児の孤立や育児不安の解消等を図りました。</li> <li>・多様な保育ニーズに対応する国の子ども・子育て新システムについて、保育所(園)施設会や幼稚園連絡会で勉強会を実施しました。</li> <li>・病児病後児保育の施設整備に向け、県と協議を行いました。</li> <li>・平成23年度に事業が一本化されたファミリー・サポート・センター事業は、早朝、夜間、宿泊を伴う預かり等が利用者のニーズに合わせて利用しやすくなったことにより、利用数が増加しました。</li> </ul>		子ども部

取組状況: ...達成できた。 ...取組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

4.環境共生の魅力あるまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
資源循環型社会の構築	<p>廃棄物の減量・資源化の推進 市民、事業者と協力してごみの排出抑制、減量化を推進するとともに、平成23年度に草木類や生ごみなどの堆肥化等に取り組み、農園芸への活用を図ります。</p>	<p>ごみの減量化とリサイクル</p>	<p>・生ごみの資源化と草木類の資源化を推進し、農園芸への活用の促進</p>	<p>・第四次ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムを改訂し、生ごみの減量・資源化の促進、啓発、取組の支援を施策に掲げました。 ・草木類の資源化についても、促進、啓発を第四次アクションプログラムに掲げ、せん定枝粉碎処理車(チップカー)により、街路樹、公園、学校などのせん定枝を粉碎し、チップを資源として有効活用するとともに、学校等での環境学習として実演を行いました。 また、家庭用のせん定枝用小型破砕機の無料貸出制度、購入費補助制度を継続し、草木類の資源化を支援しました。</p>		生活環境部
	<p>バイオマスタウン構想の推進 間伐材や木くず、家畜の糞尿などの有機性廃棄物等の有効利用を図るバイオマスタウン構想の実現に向けて、1年以内に推進体制を整備し、積極的に支援します。</p>	<p>省資源・省エネルギー</p>	<p>・バイオマスタウン構想の実現に向けた事業化の検討</p>	<p>・木質バイオマスの利用推進を図るため、伊賀地域木質バイオマス利用推進協議会を設立し、未利用間伐材の流通試行事業を行いました。 ・各種バイオマスを活用した事業化に向け、商工会議所に委託して、エネルギー利用を含め、マテリアル利用の研究を行いました。</p>		産業部
魅力ある市街地の形成	<p>文化の薫りを生かした賑わいある都市空間、商業・業務機能が集積した利便性や魅力ある市街地づくりなど、引き続き地域資源を最大限活用した生活者を起点としたまちづくりに取り組みます。</p>	<p>都市環境</p>	<p>・旧細川邸やなせ宿を拠点とし、まちなか再生の発展的な取組の実施 ・賑わいと魅力ある新しい市街地の創出を目指し、希中央公益施設用地の利活用の促進</p>	<p>・やなせ宿の管理運営を、まちなか運営協議会に委託することで、地域住民らが、自主的かつ自立的に、市民の交流や憩いの場としての集客向上を目指した取り組みを行った。 ・希中央公益施設用地活用事業については、「名張の湯」と「とれたて名張交流館」の開業と合わせて、公正証書による事業用定期借地権設定契約を平成24年8月に締結しました。以降、事業者や地域との窓口調整や賃貸借料の徴収、事務引継ぎ等の管理運営業務に移行しました。</p>		都市整備部

取組状況:           ...達成できた。           ...取り組み中である。           ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

4.環境共生の魅力あるまちづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
コミュニティ交通の充実	地域の実情に応じたコミュニティ交通に対し、引き続き効率的かつ安定的な運営について支援するとともに、地域づくり組織と連携し、交通不便地の解消に取り組めます。	交通対策	・現在運行している5つのコミュニティバスについて、持続可能な運行と地域住民により組織された運営協議会への支援 ・交通不便地域におけるコミュニティ交通の導入の支援	・実証運行を開始した「はたっこ号」については、美旗地域コミュニティバス運営審議会と課題を検討し、便数や時刻表を改正することにより利便性を高めることで平成25年度の本格運行に繋がりました。 ・交通不便地の赤目地域については、赤目まちづくり委員会とコミュニティバスの運行形態や今後の取組み方針等について協議を続けており、今後も引き続き交通不便地の解消に向け、調査・支援を行います。		都市整備部
下水道事業の計画的な推進	公共下水道事業や集落排水事業を計画的に推進し、汚水衛生処理率を3年以内に95%以上にします。また、各住宅地で管理運営している大型合併浄化槽やコミュニティプラントについて、一元化により適正な維持管理が行えるよう市への移管を計画的に進めます。	下水道等	・平成24年度を目途に汚水衛生処理率95%以上の達成 ・各住宅地で管理運営している大型合併浄化槽について、適正な維持管理が行えるよう市への移管の計画的な推進	・公共下水道事業では、中央処理区の整備として、名張地区の管路工事や事業区域内の住宅団地の施設移管接続工事を、農業集落排水事業では、丈六地区を増改築した赤目南部地区の供用開始や市内11番目の比奈知地区の施設設計を行なうなど、対象住民の方にご理解をいただき整備を進めた結果、平成24年度末の汚水衛生処理率(整備率)が94.5%に達しました。 ・なお、整備後、未接続世帯の方には、アンケート調査を実施し、接続促進に努めました。 ・また、公共下水道事業の将来計画区域である南部処理区において、各住宅地で管理運営している大型合併浄化槽(コミュニティプラント)については、本格整備までの間の市の公共管理に関し移管方針を策定しました。		上下水道部

取組状況:           ...達成できた。           ...取り組み中である。           ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

5.躍進のシステムづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
財政健全化の実現	市立病院の経営改革や土地開発公社の健全化、区画整理事業の清算により多額の財源不足が生じるなど厳しい財政状況の最後の山場が予測されることから、財政健全化計画及び第3次市政一新プログラムの着実な推進により、平成25年度には財政非常事態から脱却し、未来に向けて飛躍できる財政基盤を確立します。	持続可能な財政運営	・財政早期健全化計画及び第三次市政一新プログラムの着実な推進により、平成25年度の単年度収支の黒字達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年度については、土地開発公社の清算や中央西土地区画整理事業に係る地域開発債の償還等、多額の財政負担が集中することから、本市にとって、正念場の年にありましたが、これまでの第三次市政一新プログラム及び財政早期健全化計画の取組のほか、未利用地の売却前倒し等を行うことで、平成24年度決算において、単年度収支の黒字を実現し、この山場を乗り越えることができました。</li> <li>収納強化体制の確立 債権管理室を収納強化の統括的な位置づけとして前年度収納率の維持以上の財源確保を目標としてその成果を得ました。</li> <li>市債権の適正管理 市債権を所管する職員の徴収スキルが債権管理室との協同管理化や定期学習会の成果で向上したことにより、滞納債権の解消と収入未済額の縮減に貢献できました。</li> </ul>		企画財政部 市民部
市民主権の推進	住民主体の地域づくりを一層促進するため、地域ビジョンの策定を支援するとともに、引き続き計画の着実な実現を図るためのシステムを3年以内に構築します。また、同時に地域づくり組織の円滑な運営体制を確立するため、積極的に都市内分権を推し進めます。地域づくり活動や市民公益活動の促進を図るため、積極的な情報共有・発信ができるよう市民情報交流センターの機能を充実・強化します。	地域自治 市民公益活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域ビジョンの基本的な方向性を市の総合計画に反映させ、その実現を支援するための仕組みづくりを平成24年度目途に推進</li> <li>市民情報交流センターの管理運営を専門的な知識を有する団体に委託等により、機能の充実・強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市の総合計画に地域ビジョンを最大限に尊重した地域別計画が反映され、その実現を支援するための「ゆめづくり協働事業」を創設しました。</li> <li>民間等が持つ創造的で柔軟な発想、豊富な知識を活用するため、平成24年度より市民情報交流センターの管理運営団体を公募により選定し、機能の充実・強化に努めました。</li> </ul>		地域部

取組状況: ...達成できた。 ...取り組み中である。 ...検討・準備あるいは未着手である。

重点施策(マニフェスト)の取組状況

5.躍進のシステムづくり

マニフェストの項目	マニフェストの内容	総合計画における 関連施策	マニフェストの達成目標	平成24年度の取組内容	取組状況	担当部局
情報共有の推進	<p>情報公開を推進し、政策形成過程から市民の意見を取り入れられるようパブリックコメント制度やタウンミーティング等の運用を充実するなど説明責任を果たします。</p> <p>また、市民目線での施策展開を図れるよう審査委員会による「外部評価」過程を平成22年度から公開するとともに、地域に密着した施策においては、互いの役割と責任に基づく取組を推進するため、一層の情報の共有化に取り組みます。</p>	開かれた市政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント制度やタウンミーティング等の運用の充実</li> <li>・審査委員会による「外部評価」過程を平成22年度から公開</li> <li>・地域に密着した施策においては、互いの役割と責任に基づく取組を推進するため、一層の情報の共有化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントについては、3件実施しました（昨年比1件減）。タウンミーティング（市長のまちかどトーク・出前トーク）は、79件実施しました（昨年比10件増）。</li> <li>・審査委員会による「外部評価」過程を公開しました（平成24年7月30日・31日、8月6日）。</li> <li>・地域に密着した施策に留まらず、名張市総合計画の施策体系に合わせた「施策評価」を実施し、その結果を市ホームページに掲載するなど市民との情報共有を図りました。</li> </ul>		企画財政部
質の高いサービスの向上	<p>ワンストップサービスの向上と効率化を図るため、総合窓口センター機能の充実に取り組みます。</p> <p>住民票や印鑑証明等の自動交付サービスの利用を促進するため、市役所西玄関、名張駅東口に加え、桔梗が丘駅に自動交付機を平成22年度に設置するとともに、住民基本台帳カード(住基カード)のさらなる機能充実に取り組みます。</p>	質の高いサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合窓口センターの機能充実</li> <li>・住民基本台帳カードのさらなる機能充実と推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合窓口センターの機能充実は、可能性のある業務の集中を完了、視点をサービスの質の向上に移行しました。</li> <li>・コンビニ交付サービスを導入する方向で、検討に着手しました。</li> <li>・住民基本台帳法等の改正に伴い、外国人を住民基本台帳に登載し、住基ネットでの異動情報の送受信運用も開始しました。</li> </ul>		市民部

取組状況:      ...達成できた。      ...取り組み中である。      ...検討・準備あるいは未着手である。